

『C型肝炎ウイルスキャリアの最近の動向。C型肝炎は撲滅されるのか？』

肝臓川柳

『撲滅へ 3 剤併用 未治療に』



(C型肝炎治療の「IFNを含む3剤併用療法」と同じように、未治療の患者へも3つの対策<掘り起し・フォローアップ・啓蒙>が重要！)

C型肝炎の治療は格段に進歩し、近い将来全員C型肝炎ウイルスが駆除されると言われていますが、果たしてC型肝炎は撲滅されるのでしょうか？

7月9日に行われた、第12回肝炎対策推進協議会

(<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000051109.html>)で、広島大学の田中純子教授が、衝撃的な疫学の情報、推計を発表されました。“肝炎ウイルスキャリアと患者数の動向について”

(<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10905750-Kenkoukyoku-Kanentaisakusuishinshitsu/0000051115.pdf>)

それによりますと、大ざっぱですが、

C型肝炎ウイルスキャリアは約200万人で、

┆病院にかかっている人は約40万人

┆感染をしらないまま潜在しているキャリアが約80万人

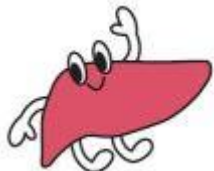
┆感染を知っているが病院に行っていない人が約80万人

(検査したことを忘れている人も大勢いるとのこと)

100%ウイルスが駆除されるようになると言っても、病院に來られて治療に結びついた患者さんだけのことです。患者さんに病院に來ていただくように、これからますます、ウイルスキャリアの掘り起し、フォローアップ、啓蒙活動が重要になってきます。

福井県の肝拠点病院の当院としては、これまでも様々な取組みを行ってきましたが、

今度、医師と患者さんの間の橋渡しの役を担う“肝炎治療コーディネーター”に対する研修会を9月27日(土)午後2時より自治会館で行う予定です。(近々に案内いたします)



これだけ覚えておけば損はない!

今回のポイント

C型肝炎ウイルスキャリアの数からして、治療をしていない人が大勢いるC型肝炎を撲滅するためにはウイルスキャリアの掘り起こし、フォローアップ、啓蒙活動が重要今後、医師と患者さんの橋渡しを担う肝炎治療コーディネーターの研修会を実施します。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)